

事業所の名称 _____
所長名 _____ 殿

会社名 _____
現場代理人 _____
(現場責任者) _____ 年 月 日 作成

工 事 安 全 衛 生 計 画 書

Table with 2 columns: 工事安全衛生方針 (Construction Safety and Health Policy)

Table with 2 columns: 工事安全衛生目標 (Construction Safety and Health Objectives)

Main risk assessment table with columns for 工種 (Type of Work), 工種別工事期間 (Type-specific Work Period), 日常の安全衛生活動 (Daily Safety and Health Activities), 1. 危険性又は有害性の特定 (Specificity of Hazard or Harmfulness), 2. リスクの見積り (Risk Estimation), and 3. リスク低減措置内容の検討 (Consideration of Risk Reduction Measures).

Table for listing personnel with columns: 職名 (Position Name), 氏名 (Name), and rows for 店社 (Shop) and 事業所 (Business Office) roles.

Table for listing subcontractors with columns: 職名 (Position Name), 氏名 (Name), 再下請会社名 (Subcontractor Name), and rows for various subcontractor levels.

元請工事業者提出書類一覧 (List of Documents Submitted by Subcontractors) and 注) は、レ点でチェック。 (Note: Check with a mark in the box).

事業所の名称 **八重洲建設株式会社
丸の内ビル作業所**
所長名 **夏川 二郎** 殿

会社名 **大山建設株式会社**
現場代理人 **中島 明**
(現場責任者) **令和2年7月8日** 作成

社印ではなく個人印
を押す。

この欄には、工事安全衛生方針として、施工する工事の安全衛生を確保するための、基本的な考え方を示す。

この欄には、工事安全衛生目標として、工事安全衛生方針に基づいて、施工する工事の工事期間において、確保すべき実施事項の安全衛生の水準を示す。

工事安全衛生計画書

この欄には、施工する工事で実施する安全施工サイクルに
関係する各種の日常の安全衛生活動を示す。

工事安全衛生方針	<ul style="list-style-type: none"> ・当社及び作業所の安全衛生ルールを遵守 ・特定した危険有害要因に対しての実施事項（除去・低減策）の実施 ・作業開始前、作業中の安全状態の指差し確認
工事安全衛生目標	<ul style="list-style-type: none"> ・墜落危険作業では安全帯を使用（使用率 100%）する。 ・移動式クレーン災害ゼロの実現のため、移動式クレーンの旋回範囲への立入禁止、アウトリガーの張出し、適正な玉掛けを徹底する。 ・KY活動における「私たちはこうする」を全員で遵守し、不安全行動を排除する。

工種	工種別工事期間			日常の安全衛生活動
	7月1・2週	7月3・4週	8月1・2・3週	
足場組立て工事	←→	←→	←→	<ul style="list-style-type: none"> ・安全ミーティング ・KYK ・作業中の指揮・監督 ・安全工程打合せ会 ・終業時片付け ・作業終了報告
鉄筋組立て工事	←→	←→	←→	
	←→	←→	←→	
	←→	←→	←→	
	←→	←→	←→	
資機材・保護具・資格の区分/その種類				
主な使用機械設備	積載型移動式クレーン、鉄筋切断機、鉄筋曲げ機			
主な使用機器・工具	ハンマ、ラチェット、玉掛ワイヤロープ、手ハッカー			
主な使用資材	枠組み足場材、鉄筋、結束番線			
使用保護具	保護帽、安全帯、安全靴、手袋（軍手・革）			
有資格者・配置予定者	移動式クレーン運転免許者、玉掛技能講習修了者、合図者、鉄筋組立て作業指揮者（職長）			

この欄には、工事（作業）の種別と
工事（作業）予定の期間を示す。

この欄には、施工する工事に必要とする
主要な資機材、保護具、資格を示す。

1. 危険性又は有害性の特定		2. リスクの見積り			3. リスク低減措置内容の検討	
作業区分	予測される災害（危険性又は有害性）	可能性 (度合)	重大性 (重篤度)	見積り	リスク レベル	リスク低減措置
移動式クレーンの設置	クレーンの設置場所の地盤状態が悪く、クレーンが転倒する。	2	2	4	3	設置地盤に凸凹、傾斜等がある場合は、地盤を整地するか角材等により水平にする。 地耐力不足の場合は、地盤改良、敷き鉄板等で補強する。
	アウトリガーの張り出しが不十分のため、転倒する。	3	2	5	4	アウトリガーをすべて張り出すこと。 モーメントリミッターの自動停止装置機能は解除しない。
移動式クレーン作業	ブームが高圧線に接近しすぎ、又は接触して玉掛け者等が感電に巻き込まれる。	2	3	5	4	ブームと高圧線との隔離距離を保つ。 電線の防護を行う。 吊り荷の移動経路に電線等の障害物がないかを確認する。
	合図が伝わらずに、ブームが足場に接触する。	2	2	4	3	合図が見えにくい場合は、無線を使用する。
	立ち入り禁止措置が行われていないため、旋回した時、カウンターウエイトに挟まれる。	3	3	6	5	クレーンの周囲を立ち入り禁止とする。 安全衛生教育を徹底する。 旋回時にブザーが鳴るクレーンを使用する。
玉掛け作業	玉掛けワイヤを掛ける時、荷が荷崩れし、荷に挟まれる。	2	1	3	2	吊り荷の間に指を入れない。 吊り荷が動かない状態かを確認する。
	荷の重心の取り方が悪く、荷ぶれを起こし、荷が激突する。	2	2	4	3	吊り荷の重心は2方向から目視し、玉掛けワイヤは2本吊り、吊り角度は60度以内で玉掛けする。 地切りは20~30cm巻き上げ、荷の重心、ワイヤの掛かり具合を点検する。
	重量目測違いで玉掛けワイヤが切断し、荷が落下して下敷きになる。	3	3	6	5	吊り荷の目測重量が不明な場合は、職長又は元請社員に確認し、重量の6倍以上の吊り能力を有するワイヤを使用する。 1トン以上の吊り荷には、事前に重量を表示する。 吊り荷には介錯（かいしゃく）ロープを付け、荷の誘導は吊り荷から3m以上離れ介錯（かいしゃく）ロープで誘導する。 吊り荷が通過する旋回範囲から全ての作業者を退避させる。

この欄には、自社の各級管理者の職名・氏名を示す。

この欄には、再下請会社の工事関係者の職名・氏名・次数・再下請会社名を示す。

職名	氏名
安全衛生担当責任者	鈴木 四郎
工事担当責任者	山本 五郎
現場代理人	中島 明
安全衛生責任者	"
職長	大沢 常男

再下請会社の関係者の職名・氏名・会社名等		
職名	氏名	再下請会社名
職長兼オペレーター	間島 健児	二次
		次
		次
		次
		次

この欄には、元請工事業者に提出する書類名をチェックし、その書類を別途、提出します。これ以外の書類があれば適宜、その書類名を記載し、別途提出します。

元請工事業者提出書類一覧				注) は、レ点でチェック。
<input checked="" type="checkbox"/> 再下請負通知書	<input checked="" type="checkbox"/> 下請業者編成表	<input checked="" type="checkbox"/> 作業員名簿	<input type="checkbox"/> 持込機械等（ ）使用届	
<input checked="" type="checkbox"/> 持込機械等（移動式クレーン）使用届	<input type="checkbox"/> 持込機械等（車両系建設機械）使用届	<input type="checkbox"/> 持込機械等（電動工具）使用届	<input type="checkbox"/> 持込機械等（電気溶接機）使用届	
<input type="checkbox"/> 工事用車両届	<input type="checkbox"/> 危険物・有害物持込使用届	<input type="checkbox"/> 火気使用届	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> 送出し教育実施報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 新規入場時教育実施報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> (移動式クレーン) 作業計画書	<input type="checkbox"/> () 作業計画書	<input checked="" type="checkbox"/> (足場組立・解体) 作業手順書	<input checked="" type="checkbox"/> (鉄筋組立て) 作業手順書	
<input checked="" type="checkbox"/> 安全衛生計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

見積り基準を基にした危険性の評価

重篤度 可能性の度合	1 軽 微 (不欠災害)(1点)	2 重 大 (休業災害)(2点)	3 極めて重大 (死亡・障害)(3点)
1 ほとんどない (注意しなくてもほとんど 負傷しない) (1点)	2 (問題は少ない)	3 (多少問題がある)	4 (かなり問題がある)
2 可能性がある (注意していないと負傷 する) (1点)	3 (多少問題がある)	4 (かなり問題がある)	5 (重大な問題がある)
3 極めて高い (よほど注意力がないと 負傷する) (1点)	4 (かなり問題がある)	5 (重大な問題がある)	6 (直ちに解決すべき 問題がある)

危険性又は有害性の評価と優先度の判定基準(例)

危険性の見積り	評 価	危険度 (リスクレベル)	判 定
6	直ちに解決すべき問題がある	5	即座に対策が必要
5	重大な問題がある	4	抜本的対策が必要
4	かなり問題がある	3	何らかの対策が必要
3	多少問題がある	2	現時点では必要なし
2	問題は少ない	1	対策の必要なし